

(別添 3)

【国頭村】

校務 DX 計画

校務 DX を推進していくために以下の 3 つの観点から取り組んでいる。今後、継続して校務 DX 化に取り組んでいく。

1. 働き方改革

教育現場のデジタル化を図るため、全教室に液晶ディスプレイ一体型電子黒板を導入しています。

これにより授業準備や教材整理が効率化され、より効果的な指導が可能になり、生徒とのコミュニケーションも活性化されます。さらに、一部の文書で公印の使用を省略することで、行政手続きの迅速化を図っています。この取り組みにより、教職員が教育活動に専念できる時間を増やすことができます。また、校務支援システムを整備し、学校業務全般の効率化を進めており、スケジュール管理や生徒情報の整理、報告書作成など、幅広い業務を統合的にサポートすることで、事務作業の負担を大幅に軽減しました。さらに、Microsoft や Google のクラウドサービスを活用して、校内のペーパーレス化を推進し、文書管理や情報共有をスムーズにしつつ、環境への配慮も進めています。これらの施策を総合的に推進することで、教職員が教育活動に一層専念できる環境の整備を目指します。

2. データ連携

保護者との連絡を円滑にするため、専用のデジタルツールを導入しています。

このツールを活用することで、欠席連絡や学校からの資料配布がデジタル化され、配布物の紛失や受け取り忘れのリスクを軽減し、コスト削減も実現しています。

また、学習支援ソフトの活用により、資料共有や連絡事項の確認が促進され、教職員や生徒間の情報共有がスムーズになっています。

校内のデータは共有ドライブに集約され、データの一元管理を実現し、迅速な情報共有が可能です。このデータ連携の強化により、学校運営の効率化と保護者との信頼関係の向上を目指します。

3. クラウド化

電子黒板の導入により校務 DX が進展し、クラウド技術を活用した教育環境の改善と業務効率の向上を期待しています。

電子黒板を使うことで、教師は直感的に教材を作成し、Google ドライブで簡単に共有し、Google Classroom との統合により、授業資料の即時配布やリアルタイムでのフィードバックが可能で、授業内のコミュニケーションが強化されます。さらに、調査やアンケート管理には Google フォームを、会議や研修資料の共有には Google ドライブを利用し、リアルタイム編集とアクセスを実現。これらのクラウドツールの活用で、校務の効率化と生産性の向上を見込んでいます。